

Press Release
(行事・催し物)

件名	(株)道央メタルが「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されました	
実施日		
タイムスケジュール (詳細に記載願います)	日 時	内 容
場 所		
主 (共) 催		
開催の趣旨		
内 容	中小企業庁では「生産性向上」「需要獲得」「担い手確保」の3つの分野で優れた取り組みを行う事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定しました。このたび(株)道央メタルが生産性向上部門で選定され、我が国の経済社会の発展への貢献に対し、6月4日、経済産業大臣から感謝状が授与されました。	
参 加 対 象		
参 加 人 数		
備 考	問合せ 株式会社 道央メタル 美唄市東5条南6丁目7番28号 TEL 0126-62-6921	
担 当 課	経済観光課 担当 高橋 電話 0126-63-0111 (内線)	

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」及び「はばたく商店街30選」を選定しました ～ 北海道内から14事業者、5商店街が選定 ～

2019年6月6日
経済産業省北海道経済産業局

中小企業庁では、「生産性向上」、「需要獲得」、「担い手確保」の3つの分野で優れた取組を行う事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として、「インバウンド」、「地域協働」、「新陳代謝」、「生産性向上」の4つの分野で効果的な取組を行う商店街を「はばたく商店街30選」として選定しました。このうち北海道内からは、14事業者、5商店街が選定されました。

また、今回選定された事業者と商店街の取組を収録した冊子も作成しました。

北海道内選定事業者一覧 ※事業者名は50音順

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」 選定事業者一覧（北海道14社）

【生産性向上（6社）】

- ◆[網走ビール\(株\) \[網走市\] \(PDF形式/228KB\)](#) 
流水や地元産品にこだわった商品づくり／IoT型自動製造機による生産性向上
- ◆[\(株\)釧路製作所 \[釧路市\] \(PDF形式/241KB\)](#) 
橋梁製造からロケット部品供給まで／情報共有を伴った一貫生産で生産効率アップ
- ◆[\(株\)調和技研 \[札幌市\] \(PDF形式/239KB\)](#) 
AIによるワクワクした未来社会の創造／優秀な人材を育てる自由な研究環境
- ◆[\(株\)道央メタル \[美唄市\] \(PDF形式/235KB\)](#) 
加工切断技術とIoT化で製造能力を拡大／鋼材穴開け時反り防止技術を開発
- ◆[道南伝統食品\(協組\) \[函館市\] \(PDF形式/224KB\)](#) 
設備導入・生産工程改善による生産力倍増／昆布の伝統を守り事業拡大による雇用創出

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上部門

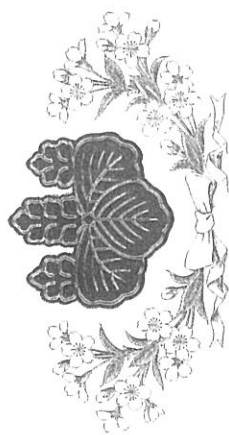
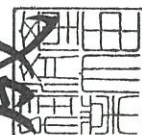
株式会社道央メタル

代表取締役社長 海老原 達郎 殿

貴社はたゆまぬ創意工夫と勤勉な取組により、我が国産業の国際競争力の向上や地域経済の活性化を牽引してこられました。こうした貴社の取組は他の模範となるものであります。今般、これまでの優れた業績を踏まえ「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定いたしました。今日までの貴社の我が国経済社会の発展への貢献に厚く感謝の意を表します。

令和元年六月四日

経済産業大臣 世耕 弘成



株式会社道央メタル

北海道美幌市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

ものづくり

加工切断技術とIoT化で製造能力を拡大 鋼材穴開け時反り防止技術を開発

創業時のプレス部品製造から始まり、レーザー複合加工、精密板金、機械加工、溶接、塗装と社内一貫生産による金属製品・部品製造事業を展開。既存製品で対応できない特注製品の製作が強み。同業他社との企業統合や生産ラインの統合・効率化により経営の効率化、活性化、業容拡大を図ってきた。「顧客ニーズにきめ細かく対応する経営方針」、「社内IoT化による高い生産性」、「多種多様な部品製造で培った技術力」を強みに、幅広い生産体制を構築し、多様な業種の顧客から受注を獲得している。

- | | | | |
|---------|---|-------|--------|
| ●所在地 | 北海道美幌市東5条南6丁目7番28号 | ●設立 | 1970年 |
| ●電話・FAX | 0126-62-6921 0126-62-6870 | ●資本金 | 2,250万 |
| ●URL | http://www.douou-metal.co.jp/index.html | ●従業員数 | 58人 |
| ●代表者 | 代表取締役社長 海老原 達郎 | | |



高い提案力と最適ものづくり体制による顧客獲得

自社内での一貫生産体制を整え複雑化する顧客ニーズへ臨機応変に対応するとともに、中小企業版トヨタ生産方式を採用し、「①改善活動、②無駄の排除、③ジャストインタイム」を進め生産性を飛躍的に向上することで、重要な付加価値である低コスト化を実現している。また、金属材料の加工切断方法は主に10種類(①プレスカット、②プラズマ切断、③レーザー切断、等)あるが、同社はその全ての加工技術を有しており、様々な加工方法の提案や生産管理システムによる「最適なものづくり体制」により低コスト化を進め、取引を拡大している。



当社固有技術NWP法適用品

独自開発技術に加えIoT化によりリードタイムを短縮

独自開発の「反り反りをなくす金属加工技術」(NWP法)で質と生産効率を高める強みだけではなく、全社員へタブレット型端末を支給し社員が作業工程ごとの情報を入力することで、管理データと作業員がつながる生産管理システムを構築。これによりネック工程を把握し、その工程を中心に全体行程を見直すとともに、必要なものだけを必要な時に製造することで、全体のリードタイムを約20%短縮し仕掛品を半減。さらに社内のIoT化を進め、ビックデータとして蓄積された作業履歴を分析・検討することで、作業効率と品質サービスを向上させるとともに、今後の受注計画や経営戦略策定に役立て、同社の競争力を強化する方針。



タブレットとIoT化された作業工程

人材採用や育成の工夫で自社を活性化

製造現場での大きな課題である高齢化に対し「技術力」継承のため、「溶接」の訓練や「プレス加工法」の勉強会等を開催し、同社の強みである「技術力」の保持に取組んでいる。また、新規採用は技術系卒業生に限らず、幅広い分野の卒業生を積極的に採用。現場教育や担当多様化などで多能工社員を育成している。その結果、若手人材の確保や臨機応変な生産にも対応可能なスキルを持つ従業員が育成でき、生産技術の維持・承継を実現。加えて、休暇の取得促進など「働き方改革」を進めやすい環境となり従業員満足を高めている。



最先端の機械を使い技術継承中の従業員